

大変好評であった昨年10月に英語オンラインの形式で開催された第11回グローバルプラズマフォーラム「プラズマ科学と種子科学の最近の話題から」に引き続き、今回リアルな会場【オンサイト】で、さらに多くの講師をお招きし、研究会を開催いたします。専門家のみならず、一般の方々にも最新的话题を提供いたしますので、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

案内 URL : <https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/news/notice/223-24.html>

参加申込をお願いします 申込み <https://forms.office.com/r/y1d4EtGehY>

プログラム すべての講演が招待講演となります。

2023年2月23日(木・祝)(講演時間には質疑10分目安を含みます)

13:45 (15分) 開会の辞 古閑一憲(九州大学)

14:00 (60分) 「硝酸イオンによる種子発芽調節」南原英司(トロント大学)

15:00 (45分) 「プラズマ活性水による種子休眠打破と種子発芽制御」中林一美(ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校)

15:45 休憩(15分)

16:00 (30分) 「種子へのプラズマ照射量の定量解析最前線」奥村賢直1、古閑一憲1,2、白谷正治1(1九州大学, 2自然科学研究機構)

16:30 (30分) 「フロー式プラズマ発生装置による窒素肥料の生成」玉井鉄宗(龍谷大学農学部資源生物科学部)

17:00 (30分) 「プラズマと膜輸送」魚住信之(東北大学工学研究科バイオ工学専攻)

17:30~ 意見交換会

2023年2月24日(金)(講演20分質疑10分目安)

9:00 (30分) 「プラズマと作物生産」石橋勇志(九州大学)

9:30 (30分) 「プラズマ照射による植物細胞への生体高分子導入及び農業への応用」柳川由紀(千葉大学園芸学研究院/理研環境資源科学研究センター)

10:00 (30分) 「作物の生理形態特性からみるプラズマ照射後の環境ストレス応答」仲田麻奈(名古屋大学)

10:30 休憩(15分)

10:45 (30分) 「ゼニゴケをモデルとした植物における活性種の役割と低温プラズマの作用機構の解析」坪山祥子・朽津和幸(東京理科大学理工学研究科応用生物科学専攻)

11:15 (30分) 「作物育成における低温プラズマ処理の収穫への効果」橋爪博司(名古屋大学低温プラズマ科学研究センター)

11:45 (15分) 閉会の辞 古閑一憲(九州大学)

12:00 会場終了

見学会(時間は目安、詳細変更の可能性あり)

13:00~ 名大 低温プラズマ科学研究センター(NIC4階)

14:00~ 谷口光隆研究室, 柴田貴広研究室 農学部A館(電顕設備, LC-MS)
名大 全学技術センター 農学部B館(共通MS)

問合せ先

名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター(cLPS)

事務局 e-mail: contact@plasma.engg.nagoya-u.ac.jp